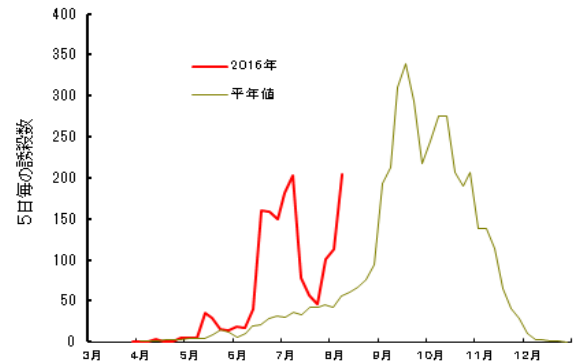


いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

大豆 ハスモンヨトウに警戒！！ 若齢幼虫のうちに防除を！！

ハスモンヨトウは、ここ数年全国的に少発生傾向にありましたが、今年はハスモンヨトウの発生が多く三重県病害虫防除所から注意を促す情報が出ており警戒が必要です。ハスモンヨトウの若齢幼虫が集団で葉を食害する習性があるため、被害葉はカスリ状に白変(白変葉)します。成長が進むと分散して夜間に活動することが多くなるため、若齢幼虫による被害葉を発見したら確実に防除が必要です。



フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
〈調査場所:松阪市嬉野川北町〉

若齢幼虫



幼虫の色 淡い緑色
2齢以降は、
頭部のやや後ろに
2つの黒い紋が見える。
大きさ 1cm未満

老齢幼虫



幼虫の色 褐色～黒褐色
大きさ 1cm以上～5cm

防除の
タイミング！

幼虫が成長するにつれて防除効果が低くなる。



大豆の白変葉写真 ①



大豆の白変葉写真 ②

防除は、若齢幼虫のうちに！！

ハスモンヨトウの幼虫の期間は約20日間。

若齢幼虫⇒中齢幼虫⇒老齢幼虫と成長します。

老齢幼虫になるにつれて防除効果が劣ってしまうため、

若齢幼虫のうちに、早めに防除することが大切です。

1圃場に、大豆の白変葉が2・3カ所あれば防除時期です。

おすすめ！！ ハスモンヨトウ防除剤

●プレバソンフロアブル5

希釈倍数 4,000倍 (100ℓ/10a散布)

●フェニックス顆粒水和

希釈倍数 2,000倍 (100ℓ/10a散布)